八重岳

屋久高プレス

平成１８年１２月２８日 第　９号
発行：鹿児島県立屋久島高等学校
上屋久町宮之浦２４７９－１
TEL0997-42-0013　F42-0620

特集　　いよいよセンター試験

ガンバレ！屋久高生

センター試験を間近に控えたこの時期、受験生にとっては、何をしていても気持ちの落ち着かない日々ではないでしょうか。過去に接した多くの受験生は、必死になって勉強し集中することで、その不安から逃れようと頑張っていました。

ひとつ大事なことを！

授業にセンターの点数が落ちている。」ということを知っていますか。（・・・センター試験に出るかも知れない内容が、毎日の授業でたくさん扱われているということを。・・・）私の経験でも、センター試験前1ヶ月間の授業で扱った内容が、本番のセンター試験に何問も出たことがあります。出された課題をしっかりやり、集中して授業に参加すると、授業中に先生の口からこぼれ落ちる**点数**、問題集の上に転がっている**点数**が見えてくるものです。1問拾うと3点から4点ももらえます。五教科で各1問拾うと**15点から20点もセンターの点数が増える**のですよ。「あの時やった内容がそのまま出た」などということはよくある話です。不安がる前に、日々の授業、課題に精一杯取り組んでください。それしかやることはないのですから。そして、センター試験が終わるまでは、風邪などひかないよう「体調管理」を万全に。

進路指導部　岡元　良二

防火訓練実施～火の用心～

期末考査最終日の十二月一日、上屋久町分遣所の指導で火災及び火災発生時に冷静・迅速・安全な避難行動をとり、また防災に対する意識の高揚を図る目的で防火訓練が実施されました。

同町では十一月、2棟全焼・1棟半焼という火事があったばかりで、生徒たちは真剣な気持ちで訓練に臨んでいたようです。

消火訓練では初めに油火災を想定し火がついた油に水をかけても効果はないばかりか危険でもあることを学び、最後に生徒の代表が粉末消火器で消し止め、訓練は終了しました。

後輩へ環境実習

三年生が二年生に説明を行う「インタープリテーション実習」が二十日ヤクスギランドで行われました。実習では、ヤクスギランドの主要な木である「杉・栂（つが）・樅（もみ）」の見分け方や「切り株更新」「ギャップ更新」などの森の移り変わりの様子を分かりやすく、時にはクイズを交えながら説明していきました。三年生の中には、「解説のために準備してきた説明をうまく伝えることが出来なかった」「説明のしかたやタイミング等を間違え、参加者の注意を引きつけることができなかったことが悔しい」と感想を述べていました。

あいにくの雨の中行った実習でしたが、環境コースの生徒にとっては良い野外実習になったようです。

実習中の生徒たち

人権週間の取組

国において十二月四日〜十日までの一週間を人権週間と定められている中、本校では八日に職員研修を実施、十一日に人権同和教育について学習する合同LHRが実施され、部落差別・性差別・外国人差別など様々な差別・偏見について学び、人権意識の啓発・高揚を図りました。

ビデオ鑑賞での生徒の感想に「男女差別は無くなったと耳にするが、ビデオの中に『お茶3つ。女性は君しかいないんだから』という場面があり、今もこのような差別や偏見が続いているような気がする。まずは人の気持ちの持ちようから変えていかなければならないと感じた」や「確かに人は、はじめに見るものやすることに対して偏見を持ってしまうが、その人自身と触れ合う前に自分の考えで決めつけて、その人の良さなど認められないことは悲しいことだ」などがありました。

差別の芽　摘みとる勇気が　社会を変える

1・2月の主な行事

1月1日　元旦

1月9日　始業式

1月11・12日　実力考査
1月17日　センター試験出発式

1月20・21日　センター試験

1月24～29日
3年生卒業考査

1月25日　2年小論文模試
1月28日　英語検定，簿記検定
1月30日　3年　心肺蘇生講座

2月1日～　3年自宅学習

保育園実習

本校三年二組の保育選択者による保育園実習がなかよし保育園で行われました。

交流を通し乳幼児の心身の発達の特徴について理解を深めたり、授業で学習したことを生かして乳幼児への接し方を考えるなどを目的としています。十二人の生徒が参加した生徒のひとりは「保育園は楽しいことばかりですが、その一方で安全面や衛生面に対する気配りも必要になってくることを知った。」と述べていました。この実習を今後の進路に生かしていってくれるものと思います。

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/yakushima/top.htm